

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方(もしくは代理人の方)にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	急性白血病の寛解導入療法の種類と回数が、同種造血幹細胞移植の治療成績に与える影響の解析研究		
1. 研究の目的と方法	私たちは急性白血病に対して同種造血幹細胞移植 ¹ を受けた方の治療成績向上のために研究をしています。これまでどのような移植方法で治療すると移植成績が向上するかについて研究がなされてきましたが、移植前の治療が移植後の結果に与える影響については十分検討されていませんでした。この研究では急性白血病に対して寛解導入療法 ² を実施し、初回同種移植治療を受けられた方を対象に、急性白血病の寛解導入療法の種類と回数が、同種造血幹細胞移植の治療成績に与える影響についてカルテ情報などを参考にしながら研究します。 ¹ 同種造血幹細胞移植とは、遺伝的に同一でないドナーからの患者さんへの造血幹細胞の移植のこと ² 最初に行う化学療法・抗がん薬治療のこと		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027年12月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	急性白血病の患者さんで、1992年3月1日～2021年2月28日の間に東京慈恵会医科大学附属病院において寛解期 ³ に初回同種造血幹細胞治療を受けた16歳以上の方。 ³ 寛解期とは、寛解状態にある期間を指し、寛解とは病状が安定している状態で、診断時よりも白血球がおよそ1万分の1にまで減った状態を示します。医学的に詳細な定義が決まっていますが、詳しくお知りになりたい場合には、下記お問い合わせ先までご連絡ください。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	疾患名、病気の染色体・遺伝子情報、受けた治療内容、移植後合併症の有無と発生状況	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集するとともに、過去に同意された研究で取得されたデータを二次利用します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(2)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 腫瘍・血液内科
		氏名	石井敬人
	(2) 試料・情報の管理責任者	1)の研究責任者と同じ	
(3) 共同で研究を実施する機関とその	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

	責任者	
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 腫瘍・血液内科 研究責任者：助教 石井 敬人（いしい ひろと） 窓口担当者：助教 石井 敬人（いしい ひろと） 電話番号：03-3433-1111（内線 3252） 対応時間：平日 09：00 ～ 17：00	

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。